

第 4 回埼玉県空き家対策連絡会議の開催結果について

あいさつ

- ・開催にあたって、埼玉県都市整備部の諏訪副部長から、挨拶があった。

議事（１） 埼玉県空き家対策連絡会議設置要綱の改正（構成員）について

- ・連絡会議と空き家対策ローンとの連携を検討するため（一社）埼玉県銀行協会、埼玉県信用金庫協会、土地の境界や登記の相談等で協力をいただくため埼玉土地家屋調査士会を新たな構成員として要綱を改正することとなった。

議事（２） 中古住宅流通・空き家活用部会からの成果報告

- ・埼玉県の空き家対策を推進・検討するために設置した２つの部会のうち、はじめに中古住宅流通・空き家活用部会で検討した空き家対策について、議題毎に報告があった。
- ・空き家バンク設置支援マニュアル（案）について、埼玉県住宅課から報告があった。中古住宅流通促進のスキーム（案）や空き家バンク設置要綱（案）、空き家バンク設置事例等を取りまとめたマニュアル（案）の説明があった。
- ・次に空き家利活用事例集（案）について、埼玉県建築安全課から報告があった。前回の連絡会議から追加した事例等の説明があった。

議事（３） 老朽危険空き家部会からの成果報告

- ・老朽危険空き家部会で検討した空き家対策について、議題毎に報告があった。
- ・空き家相談窓口体制の検討及び構築、空き家お助け隊制度の検討及び構築について、埼玉県建築安全課から報告があった。空き家相談窓口体制の内容や相談に対応する際に参考となる事項をまとめたマニュアル（案）の説明があった。
- ・次に空き家実態調査方法の検討について、志木市から報告があった。空き家の実態を把握するための調査の方法や様式等をまとめたマニュアルの説明があった。
- ・次に特定空家等判定方法マニュアル作成について、埼玉県建築安全課から報告があった。空家等対策の推進に関する特別措置法（以下、法）のガイドラインに基づき作成したチェックリスト、総合判定等で構成するマニュアルの説明があった。
- ・次に特定空家等に対する指導手順マニュアル作成について、所沢市から報告があった。法に基づくガイドラインを補完する形で指導手順をまとめたマニュアルの説明があった。
- ・次に空家等対策計画のモデル計画作成について、坂戸市から報告があった。法の規定で計画に定めるものとされる事項毎に案文や考え方をまとめたモデル計画の説明があった。
- ・次に空き家管理モデル条例の修正について、埼玉県建築安全課から報告があった。埼玉県空き家対策指針のモデル条例を法の施行を踏まえた内容に修正することとなった。
- ・最後に空き家問題啓発用リーフレットについて、埼玉県建築安全課から報告があった。空き家問題及び法の概要をまとめた啓発用リーフレットの説明があった。

議事（４） 空き家対策ローンについて

- ・空き家対策ローンについて県内の金融機関から説明があった。

議事（５） 空き家管理等基盤強化推進事業の説明

- ・平成 27 年度空き家管理等基盤強化推進事業の「空き家の適正管理等に関する相談体制の整備部門」に埼玉県を区域として応募し、採択された（公財）日本賃貸住宅管理協会埼玉県本部から、11月20日に相談事業を開始した旨、説明があった。

議事（６） 意見交換

- ・参加団体との意見交換、質疑応答を行った。

その他

- ・埼玉県建築安全課から、今後のスケジュールとして、年度内に空き家相談窓口対応に関する研修の実施を検討している等の説明があった。